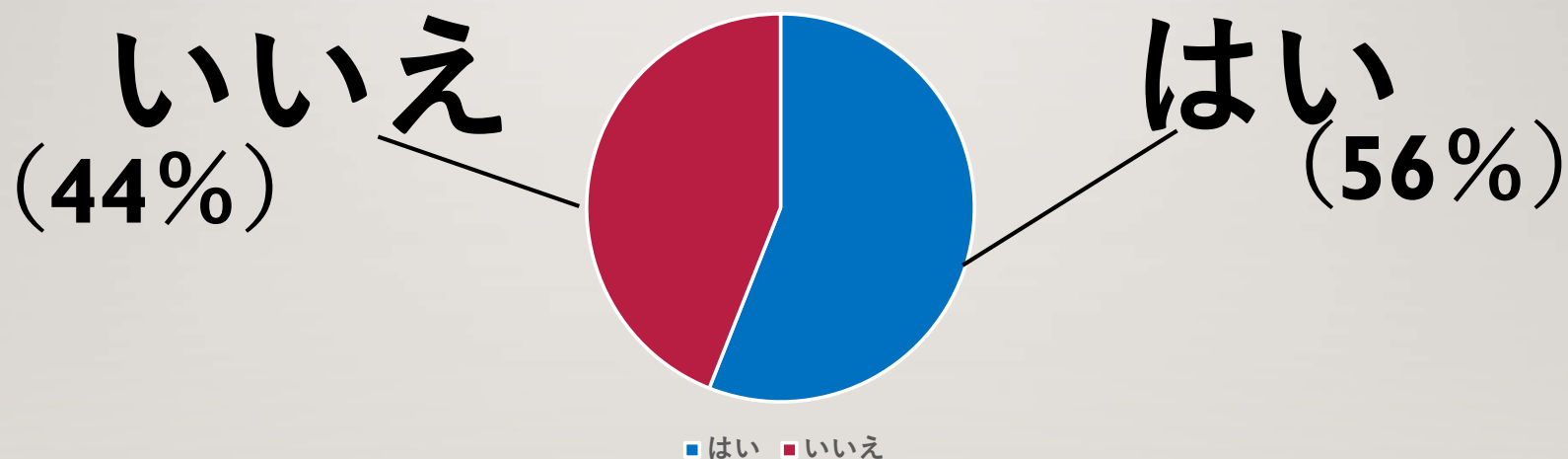


最近運動してる？

チーム ラーメン愛護団体

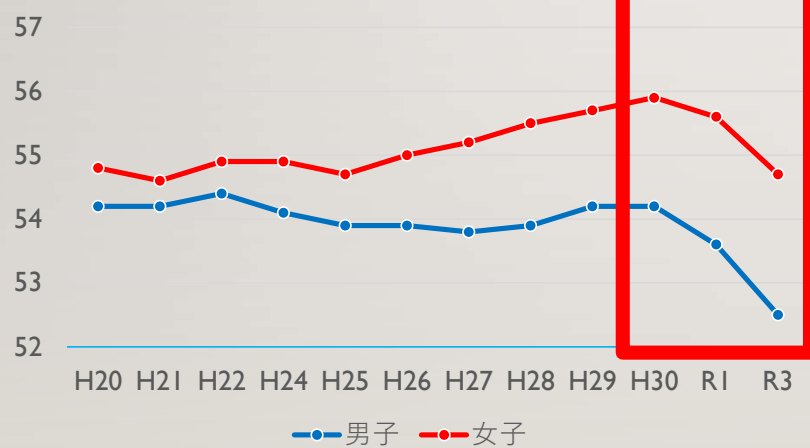
一般大学生を対象とした運動・スポーツに関する調査

週一回運動しているか？

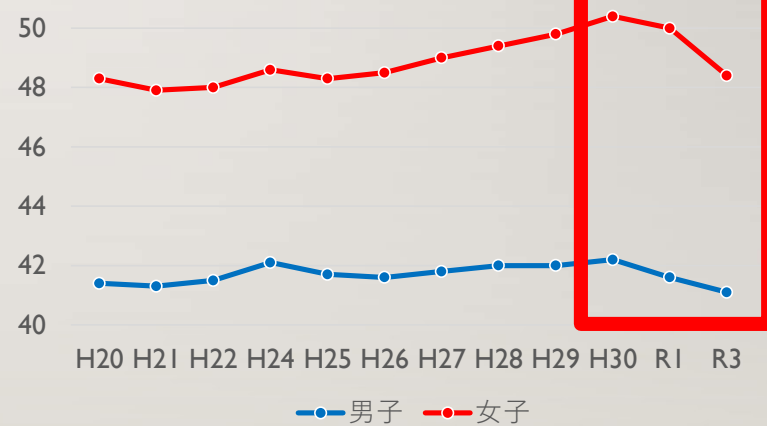


令和3年度全国体力 運動能力 運動習慣等調査

小学生



中学校



何が問題？



体力低下による健康寿命の短縮



若年層の病気の割合増加



学力にも悪影響が



生産者人口の減少

スポーツしよう！



スポーティーな国づくり

～自己紹介～

小樽商科大学2年 商学部 商学科

三河 駿介

趣味・バレーをする、観る

ラーメンをすすること

最近あったこと

青い春到来



～自己紹介～

北海学園大学2年 経営学部 経営情報学科

五十嵐 真悠

趣味・アニメ、漫画を見ること

ラーメンをすすること

悩み・可愛がっていた、はとこが懐かなくなってきたこと…

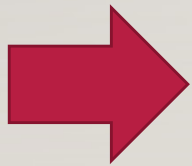


日本の現状

1, 部活動における教員の負担増加

2, 学生の電子機器等の所持による野外または部活動で体を動かす頻度の減少

3, 家庭の都合や勉強に集中したいという理由で体を動かさない学生の存在



スポーティーな国になるための障壁

取り上げる政策一覧

政策1 OB・OG政策

政策2 スポーツの魅力を気付かせる政策

政策3 体を動かす時間の確保と充実化政策

政策1 OB・OG政策

目的

教員の負担を減らしたり過疎地域でも充実したスポーツ活動が行えるようにする

政策内容

定年退職後のOB・OGを起用することで体育の充実化、教員の校務時間の確保、経験者からの専門的指導で充実した部活動へ

政策2 スポーツの魅力を気付かせる政策

目的

電子機器だけにとどまらず体を動かすことの楽しさそのものを見出してもらう

政策内容

電子機器の普及を逆手に取ったフィットネスゲームの推奨、幼稚園・保育園・小学校限定の出張スポーツ教室の定期開催、体育館・グラウンド等の施設補強

政策3 体を動かす時間の確保と充実化政策

目的

家庭や個人の事情など関係なく最低限の身体づくり、運動ができる。また、学生時代にスポーツに触れられなかった社会人が大人になってからでも触れられるようにする。

政策内容

体育の授業の充実化、長期休業での体育館の開放、家族連れ・社会人向けのスポーツキャンプ開始、広告等での宣伝

予算

財源

- 65～74歳の人口である1,800万人のうち4分の1の約450万人が定年後も働くと仮定
その中の44,658人を部活動指導員として動員されている
時給1,600円 年上限740時間 年収118万4000円
見込める所得税.....1か月154,000円 $\times 0.05 = 7,700$ 円
1年で7,700円 $\times 12$ か月分 = 92,400円

92,400円 \times 450万人 = 4,158億円

政策1 (OB・OG政策) の予算案

- 時給を1,600円 (文科省推奨額) と設定し、さらに1年740時間働くと仮定

$$\rightarrow 740\text{時間} \times 1,600\text{円} = 118\text{万}4000\text{円}$$

学校ひとつにつき3人指導員を動員すると→約355万円

- 日本の中学校、高校数 **14,886校** × 355万円

≒ 529億円

政策2（スポーツの魅力気づかせる政策）の予算案

- 幼稚園、小学校数合わせて**35,000校**にフィットネスゲームを5台ずつ提供する
- 予算を考える上で既存の「リングフィットアドベンチャー」というswitchのゲームを例に考えると、1台約2万4000円、が5台なので12万円

$$12\text{万円} \times 35,000\text{校} = \underline{42\text{億円}}$$

- また、運動教室を年に4回行うとして、1回につき10万円かかるとする

$$35,000\text{校} \times 10\text{万} \times \text{年}4\text{回} = \underline{140\text{億円}}$$

$$42\text{億円} + 140\text{億円} = \underline{\underline{182\text{億円}}}$$

政策3（体を動かす時間の確保と充実化政策）の予算案

- スポーツ関連観光事業支援金

→2億円

各種スポーツ団の求人を目的としたアプリの開発費、維持費合わせて

→1,100万円

駅内の電子公告費、電車・バスの窓に貼ってあるシール広告費合わせて

→4億円

2億円 + 1,100万円 + 4億円 = 6億1,100万円

予算総計

- **717億1,100万円**

財源4,158億円 > 総計717億1,100万円

まとめ

スポーティーな国づくり

- 健康寿命が延びることで高齢者にかかる医療費、介護費が減少
- 将来における生産者、医療従事者の負担減

あわよくば....!!!

オリンピック有望選手の増加

→日本の各種大会でのメダル獲得率増へ

→スポーツが強い国の仲間入り



ご清聴ありがとうございました！

